

(別紙2)

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動ニュース



県中農林ニュース

第6号(平成30年4月発行)

編集・発行 福島県県中農林事務所

●トピックス

- ・「平成29年度石川地方イノシシ被害対策セミナー」を開催しました。
- ・「石川町元気もりもりフェス(「おいしい ふくしま いただきます! キャンペーン」県産農産物PR(第5回))」を開催しました。
- ・「県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会」を開催しました。
- ・「施設園芸における環境制御勉強会(郡山市青年農業士勉強会)」を開催しました。
- ・「平成29年度郡山地域スマート農業セミナー」を開催しました。
- ・「平成29年度第2回田村農業普及推進懇談会」を開催しました。
- ・「田村地方農産加工研究会(料理教室)」を開催しました。
- ・『小さな火 大きな森を 破壊する』「福島県山火事防止県中地区連絡協議会」を開催しました。
- ・「夏井川で学ぶ・遊ぶ体験ツアー」を開催しました。
- ・「第三者認証GAP相談会」を開催しました。
- ・「須賀川・石川地方果樹振興研修会」を開催しました。

「平成29年度石川地方イノシシ被害対策セミナー」を開催しました。

【須賀川農業普及所】

近年、鳥獣による農作物被害が増加傾向にあります。そこで、当普及所では、広域的な鳥獣被害対策の実施や情報共有の円滑化を目指し、広域協議会の設立を推進してきました。昨年2月に石川地方において「石川地方鳥獣被害防止対策協議会」が設立され、協議会では、被害対策情報の発行や、ICTおり罠によるイノシシ捕獲の実証、民間業者に委託してイノシシの被害状況調査を行うなど鳥獣被害防止対策の強化を図っています。今年度はその活動の1つとして、1月30日(火)に当普及所と共催で「平成29年度石川地方イノシシ被害対策セミナー」を開催し、石川地方鳥獣被害防止対策協議会のこれまでの取組について情報提供を行いました。

引き続き、当普及所では、石川地方鳥獣被害防止対策協議会の活動支援を行っていきます。



セミナーの様子

「石川町元気もりもりフェス（「おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン」県産農産物PR（第5回）」を開催しました。

【企画部】

当キャンペーンは、県産農産物の美味しさや安全性をPRし、風評の払拭と地産地消を推進するため実施しています。

今年度第5回目は、2月4日（日）に石川町立石川小学校で開催された、県中保健福祉事務所主催（石川町、県立医科大学健康増進センター、県中農林事務所共催）の「石川町元気もりもりフェス」に参加して実施しました。

「料理教室」では、試食メニュー（トマトケチャップを使った減塩豚汁、長ネギの鶏肉巻き、野菜サラダ）の調理にあたった郡山市の農家イタリアンレストラン『ARIGATO』の加藤シェフによる、食材の産地や生産に携わっている人の話しや、トマトケチャップを使った減塩調理法についての講演がありました。その後、完成した試食メニューを参加者全員で味わいました。



試食の準備をしている様子

また、元巨人の鈴木尚広氏を講師に迎えた「健康教室」も同時に開かれ、大勢の小中学生等が参加し、大変盛り上がりしました。

「県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会」を開催しました。

【企画部】

2月13日（火）に田村市役所多目的ホール107会議室において、『平成29年度県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会』を開催し、46名の参加がありました。

交流会では、基調講演として、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構の花垣紀之氏より、「皆さんがやりたい農家民宿は？交流と観光の区別を」と題して、受入れ体制の仕組みづくりの必要性や提供する農村体験の実例、農村交流によって、参加者のコミュニケーション能力の向上が図れるなどの話がありました。

また、田村市船引町の渡辺芳江氏からは、農家民宿開業のきっかけや受け入れ事例について、田村市大越町の佐久間辰一氏からは、植物を活かした農村交流活動や地域づくり、グリーン・ツーリズムの取り組み事例を発表していただきました。

実践者の方々が「やっていること」「やってみたいこと」「行政にお願いしたいこと」について、意見交換を行い参加者の意見集約を図りました。

事務局からは、「住宅宿泊事業法」や「農林漁業体験民宿等の確認申請」、「国・県の補助事業」について情報提供を行いました。



事例発表していただいた 渡辺芳江氏（左）と佐久間辰一氏（右）

「施設園芸における環境制御勉強会（郡山市青年農業士勉強会）」を開催しました。

【農業振興普及部】

2月16日（金）、県郡山合同庁舎において、「施設園芸における環境制御勉強会（郡山市青年農業士勉強会）」を開催しました。

近年は、生産性を向上させる技術として環境制御技術が注目されており、管内でもきゅうりやイチゴの施設栽培で導入が広がっています。

当日は、郡山市、須賀川市、鏡石町、玉川村等の農業者や関係機関等から33名の参加がありました。

研修会では「見直そう!!施設栽培における光合成を重視した環境制御方法」と題し、株式会社誠和ソリューション事業室室長の齊藤章氏より講演をいただきました。農業者からは積極的な質問や意見が寄せられ、環境制御技術について理解を深める有意義な勉強会となりました。



勉強会の様子



きゅうり施設栽培への導入例

「平成29年度郡山地域スマート農業セミナー」を開催しました。

【農業振興普及部】

農業におけるICT等の活用事例を広く紹介し、収益性の高い大規模経営体の育成に繋げるため、2月19日（月）に郡山市日和田町の福島県農業総合センターにて、「郡山地域スマート農業セミナー」を開催しました。

農業者を中心に130名が出席する中、日本農業経営大学校の堀口健治氏より国内のスマート農業の開発普及状況について、また、有限会社横田農場の横田修一氏より大規模稲作経営体でのICT活用事例について講演いただきました。その後、郡山地域水田メガファームモデル事業の取組実績について県中農林事務所から報告の後、有限会社アグリサービスあさか野の鈴木代表よりKSAS（クボタスマートアグリシステム）を含めた先進技術導入のメリットや留意事項について詳しく説明いただきました。

参加者は大規模稲作経営におけるICTの役割や、県内外での実践事例と留意点について熱心に受講されていました。



スマート農業セミナー風景

「平成29年度第2回田村農業普及推進懇談会」を開催しました。

【田村農業普及所】

2月22日（木）、三春合同庁舎において、農業者等26名の出席のもと、当懇談会を開催しました。懇談会では、普及指導活動の実績及び平成30年度普及指導計画(案)の説明のほか、普及活動の事例紹介として、新規就農者の確保・育成、堀越地区の集落営農支援、MKFカンパニー・WCSたむらの取組を報告しました。さらに、意見交換では、定年帰農者等の確保・支援について話題提供し、田村地方の農業担い手の確保・育成について、出席者から意見、要望、アドバイス等をいただきました。今後、普及所としても、関係機関・団体と連携し、経営指標等の具体的な数字を示しながら周知を図り、定年帰農者なども含め、広く担い手の確保・育成を支援していきます。



懇談会の様子

「田村地方農産加工研究会（料理教室）」を開催しました。

【田村農業普及所】

田村地方農産加工研究会は、当地方において、地元の農産物を原料に加工活動を行う方の集まりで、現在6名の会員が所属しています。

新たな特産品の開発を目標に、加工教室や加工技術研修会、先進地視察等を開催し、会員の加工技術の向上に取り組んでいます。

2月28日（水）に開催した料理講習会では、3名の会員に加え、一般参加者11名が参加し、「でっけえし」「とろろコロッケ」「りんごのおこわ」の3品を調理しました。「でっけえし」とは、小麦粉に砂糖を加え、フライパンで焼いたもので、田村地方の一部で継承されてきた伝統料理です。

参加者からは、レシピに書いていない細かい技術に関する質問が多く寄せられました。会員にとっても、自分の技術を再確認するとともに、消費者との交流の場となり、さらに、都路地区など管内にも波及し、地域の活性化が図られるよう、普及所としても支援していきます。



熱心に加工技術を学ぶ参加者



完成した伝統料理

でっけえし

『小さな火 大きな森を 破壊する』 「福島県山火事防止県中地区連絡協議会」を開催しました。

【森林林業部】

3月から4月にかけては、山火事の発生しやすい時期です。強風時及び乾燥時や枯れ草等のある火災が起こりやすい場所ではたき火をしないなど火の取り扱いには十分注意しましょう。

県中農林事務所では、山火事防止運動の強化を図るため、3月1日（木）に福島県山火事防止県中地区連絡協議会を開催しました。協議会には各消防本部、市町村、森林組合、森林管理署等19機関23名が出席し、3月16日（金）から5月6日（日）を強調月間とし、各種山火事防止運動を実施していくこととしました。



協議会の様子



山火事予防ポスター

「夏井川で学ぶ・遊ぶ体験ツアー」を開催しました。

【森林林業部】

夏井川の源流から河口までをバスでめぐり、流域の中で水質がどのように違うかを調べながら、水と人の生活との結びつきや、水環境の大切さを学ぶ「夏井川で学ぶ・遊ぶ体験ツアー」が3月4日（日）に開催されました。

これは、森林環境税を財源とした事業（土地・水調整課所管）によりNPO法人小野自然倶楽部が主催したものです。

約30名が参加したこのツアーには当部の職員も講師として参加し、森林と水環境の関わりを説明しながら、参加者に小石や落ち葉などの身近な材料で「森林の濾過器（モデル）」を作ってもらい、楽しみながら夏井川から採取した水の浄化体験をしていただきました。



源流の一部である入水鍾乳洞付近で水を採取



小石や炭、落ち葉などを使った簡易濾過器を手作り

「第三者認証GAP相談会」を開催しました。

【農業振興普及部】

3月6日（火）、県郡山合同庁舎第二会議室にて、管内の農業者による第三者認証GAP取得の取組を加速させることを目的に個別相談会を開催しました。

当日は、農業者等14名が相談に訪れ、担当職員からGAPの基準書や補助事業に関する説明に対し、相談者からは積極的にGAPに取り組んでいきたいといった声が多く聞かれました。引き続きGAP取得に向けた支援を行っていきます。



相談会の様子（農業振興普及部）

「賀川・石川地方果樹振興研修会」を開催しました。

【須賀川農業普及所】

須賀川・石川地方では果樹の担い手の高齢化が進み、栽培面積の減少や老朽化した園地が目立っています。そこで、当地域の果樹産地の活力向上のため、3月7日（水）にJA西袋支店及び東部支店、石川町沢田自治センターの3会場で果樹振興研修会を開催しました。

研修内容は、早期成園化技術である樹体ジョイント栽培、担い手の確保と技術継承、販路拡大を目的とした輸出など、郡山市熱海地区の日本なし産地の維持・発展の取組事例の紹介を農業振興普及部から行いました。また、当普及所からは、新たに問題となっている病害虫の防除対策について説明しました。さらに、青果物価格補償協会と県庁園芸課より関連する補助事業についての紹介を行いました。

この研修会の内容について興味のある方は、当普及所まで御相談ください。



研修会の様子（西袋支店）



研修会の様子（沢田自治センター）

お問い合わせ先



福島県農中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540 福島県郡山市麓山一丁目1番1号

TEL (024) 935-1510 FAX (024) 935-1314

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>

メールアドレス kikaku.af02@pref.fukushima.lg.jp